

## 第2章

# 那覇市の母子保健がめざす姿



# 第2章 那覇市の母子保健がめざす姿

## 1. 計画の基本理念（めざす姿）

成長過程にあるすべての親と子が将来を見据え、いきいきと健やかな生活ができる

## 2. 基本目標

「成長過程にあるすべての親と子が将来を見据え、いきいきと健やかな生活ができる」那覇市を実現するため、次の3つの基本目標を設定します。

3つの基本目標は、「健やか親子なは2015」の評価や課題、母子保健に係る施策の評価、母子保健データ、「成育医療等基本方針に基づく評価指標及び計画策定指針」による指標等から概ねライフステージを柱として整理し設定したものです。

◎本計画の基本理念にもある「親」とは、養護する者（父親・母親・祖父・祖母等）を総称したものとす。

### <基本目標1>



**将来の妊娠を含めた、妊娠・出産の健康管理を行いながら安心・安全に過ごすことができる**

健やかな妊娠・出産を迎えるために、プレコンセプションケア※1の視点にもあるように、自らの心身の状態を十分に知り、妊娠前から健康や日常生活に気を配ることが大切です。

そのために、妊娠・出産に関する正しい知識の普及を行い、妊婦健診や各種サービスを活用し、主体的な健康管理が行えるよう支援するとともに、不妊や不育に対する相談及び流産や死産等に対するグリーフケア※2を含む相談機関の周知及び充実を図ります。

また、核家族化が進む中、育児手技のアドバイスや、育児のサポートが受けられるよう、産前・産後に支援が必要な方を早期発見できるよう、関係機関との連携強化に努めます。

※1 プレコンセプションケア：若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うこと。  
(出典：国立成育医療研究センター プレコンノート) P21・P53に用語が記載されています。

※2 グリーフケア：大きな「喪失体験」をした人が抱える深い悲しみ（グリーフ）に寄り添い、精神的・身体的な苦痛から回復し、新たな人生を歩みだせるよう支援するサポート P22・P23に用語が記載されています。

## ＜基本目標 2＞



### 乳幼児期から規則正しい生活習慣を身につけ、親も子も健やかに成長することができる

乳幼児期は、こころとからだの発達の基礎を形成し、生活習慣が身につく大切な時期です。その時期に受ける乳幼児健康診査は、こどもの発育や発達面、疾病や障がいを早期に発見する重要な機会であることから、健診の受診勧奨及び健診後の相談体制の充実に努めます。

こどもの生活習慣は、親の生活習慣等に影響されることもあるため、家族ぐるみで健やかな生活習慣を確立するために、親の健康意識を高める取り組みを推進します。

親は、育児不安や孤立等により育児に悩むことがあります。育児への相談やサービスの活用を促し、適切な育児環境が整うよう支援します。

また、こどもの育ち等に不安を抱える親とそのこどもに寄り添い、発育段階や疾病、障がい等に対して正しく理解できるよう周知に努め、適切な支援や相談が受けられるための連携体制を強化します。

感染症からこどもを守るため、予防接種の必要性等を周知します。また事故予防については、意識啓発及び事故予防の方法を学ぶ機会の充実や情報発信を推進します。

## ＜基本目標 3＞



### 地域に見守られながら、こどもが自らこころとからだの健康を考え行動できる力がつく

学童期・思春期は、こどもから大人のからだへと成長し、こころも大きく変化する時期です。

将来、親となり次世代を育むために、命の大切さやこころとからだの健康づくりを早い時期から認識して行動することが大切です。

こども一人ひとりが、こころとからだの健康についての正しい知識を学び、自分と他者を大切に、適切な生活習慣を身につけることができるよう、発達段階に応じた思春期教室の実施に努めます。身体の変化やこころの不調、性の悩み等、こどもが抱える不安や悩み、健康問題に適切に対処できるよう、学校や保護者、地域、関係機関等との連携を推進します。また、喫煙や飲酒の害等からこどもの健康を守るため、学校や親への普及啓発及び思春期教室を推進します。

### 3. 計画の枠組み

